

マルチン・ルター「キリスト者の自由」

徳善義和（ルーテル学院大学名誉教授） 石居基夫（日本福音ルーテル教会牧師、日本ルーテル神学校校長） 吉崎恵子（FEBCメイン・パーソナリティ）

（1993年4月～1994年3月放送）

第1回 ルター、自由人そして僕 （トラックNo.01～03）

1. 冒頭のことは「イエス」
2. 「教会の自由」から「聖書が語る自由」へ
3. 信仰を「味わう」

第2回 キリスト者の自由と奉仕 （トラックNo.04～06）

1. キリスト者とは
2. キリストが獲得し、与えられた自由に生きる
3. 他者への眼差しが生まれる

第3回 自由は外的なものによらない （トラックNo.07～09）

1. 修道院でのルターの葛藤
2. 信仰の大逆転—神の義の新体験
3. 絶望の中にもキリストはおられる

第4回 神のことがばが魂を自由にする （トラックNo.10～13）

1. 信仰生活の不自由？
2. 神のことがばの力
3. 全生涯が悔い改め（方向転換）であることを神はご望み
4. 神の前に無である自分

第5回 信仰による義と自由 （トラックNo.14～16）

1. ルターにおける律法と福音
2. 私達の外から来る救い、イエス
3. 信仰は神の真実と、大胆な信頼

第6回 キリストとの交わり—喜ばしい交換 （トラックNo.17～20）

1. ルターを中心主題、キリストとの交わり
2. 私は孤独ではない
3. 十字架による存在の中心の交換
4. 信仰者の行いはどこから

第7回 キリストと共に王、祭司 （トラックNo.21～24）

1. キリストと同じ形になるとは
2. まことの王であるキリスト
3. 祭司としてのキリスト
4. とりなしの祈りに生きる

第8回 キリストを説教する （トラックNo.25～27）

1. 説教者ルターの唯一の関心事はキリスト信仰
2. キリストの出来事が起る説教
3. 神の言の両面性

第9回 信仰の訓練 （トラックNo.28～30）

1. 内的な救いと「良き業」の関係
2. 自然体の信仰を生きる
3. 終わりの日を望み、日々前進する信仰

第10回 愛をもって隣人に仕える （トラックNo.31～33）

1. 「愛によって働く信仰」とは
2. 共にキリストの前に立つ
3. キリストの愛（ピリピ2章）は私達を他者への愛へ押し出す

最終回 自由と愛に生きる （トラックNo.34～36）

1. 良き業の中に潜む人間の偽善性
2. 神の愛の大河の流れの中に生かされていく
3. 祈りによる結び

マルチン・ルターの「マグニフィカート」（マリアの讃歌） （トラックNo.37～40）

1. ルター破門の時期に執筆
2. 神を大きく、自分を小さく
3. 全存在の讃美
4. 神の顧み